

走水・馬堀地域 教育環境整備について

令和5年11月20日・21日・25日

**横須賀市教育委員会事務局
教育総務部 教育政策課**

【本日の内容】

1 本地域説明会について

- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

1 本地域説明会について

横須賀市教育委員会では、令和4年3月に策定した「横須賀市教育環境整備計画」に基づき、人口減少が進む本市において、学校規模の小規模化、施設の老朽化及び通学区域に関する課題等の解決に向けた検討を行い、市立小中学校の教育環境の整備を行うため、令和4年5月23日に田浦地域及び走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について、横須賀市立小中学校適正配置審議会へ諮問を行いました。

このたび、横須賀市立小中学校適正配置審議会から教育委員会へ「走水小学校区を馬堀小学校区に編入する方策が妥当である」と答申されました。

(具体的な方策につきましては、今後、教育委員会議による審議を経て決定されます。)

そのため、本日は、これまでの経緯や答申内容等について、皆様へ説明させていただき、説明後、皆様からのご質問やご意見をお伺いいたします。

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

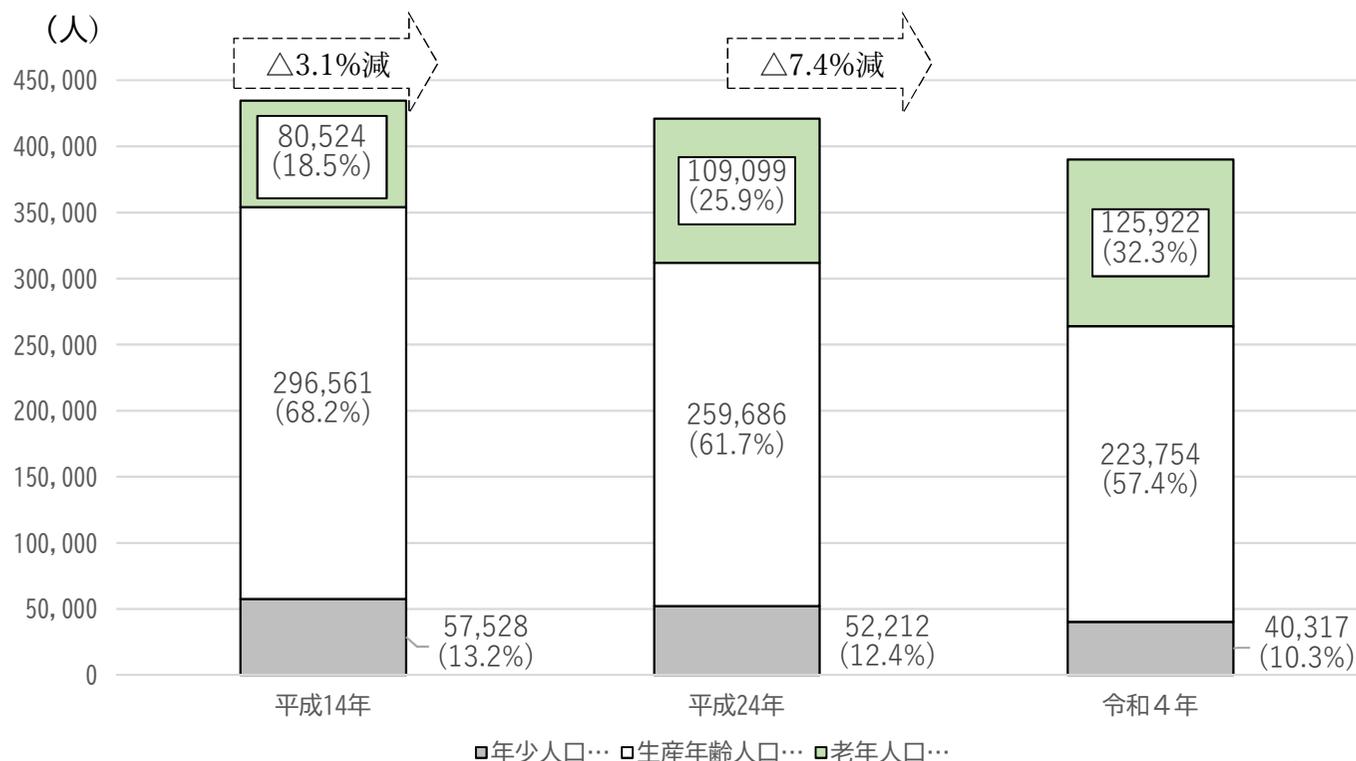
2 横須賀市の現状について

(1) 本市の人口について

① 人口推移

本市の総人口は、平成5年度の439,280人をピークに減少傾向にあります。

老年人口（65歳～）は増加傾向ですが、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳人口）が減少傾向にあります。



【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

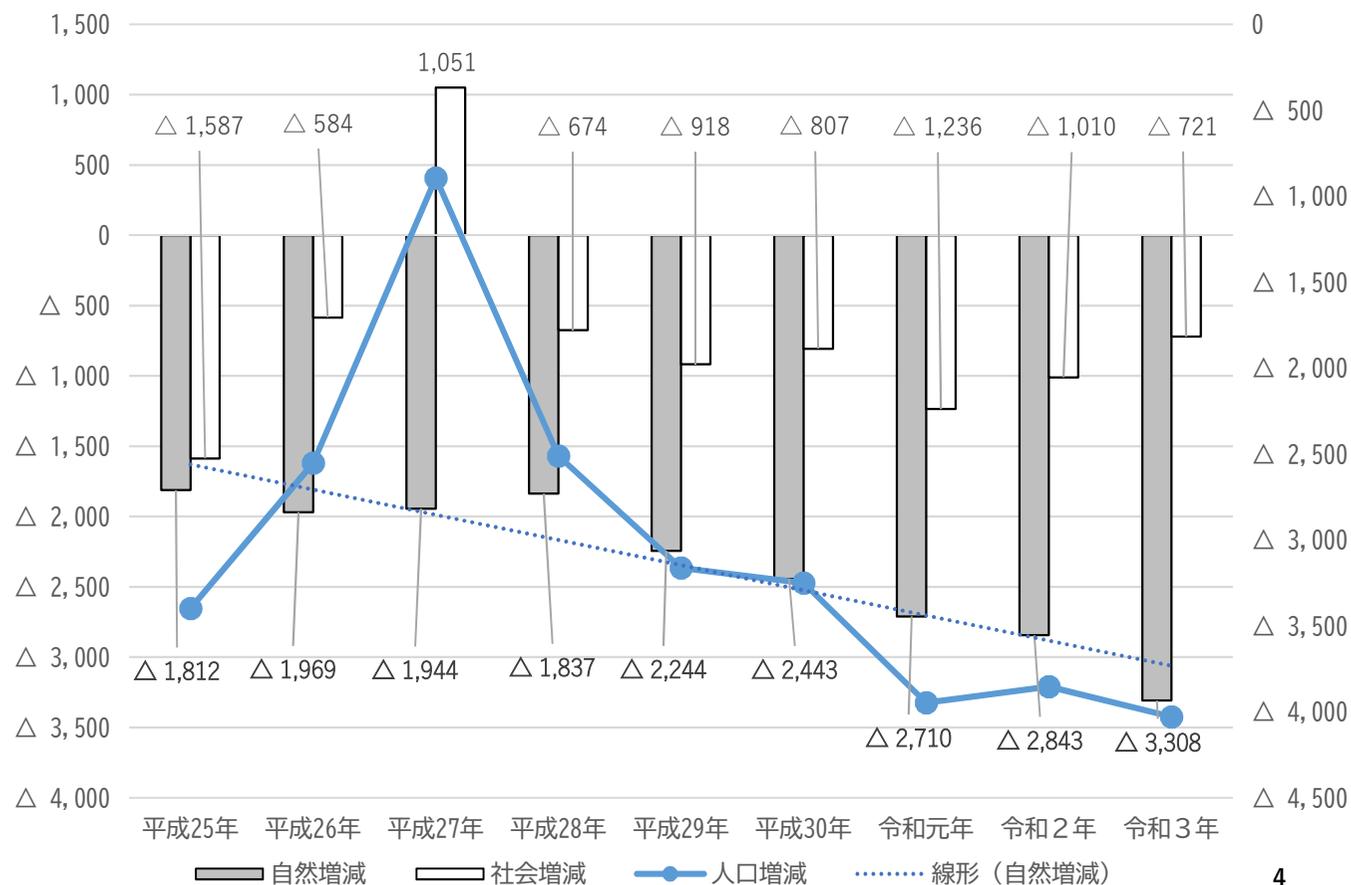
② 人口増減

老年人口は増加傾向ですが、年少人口・生産年齢人口が減少傾向にあります。

このため、死亡者数が出生者数を上回る「自然減」が人口減少の大きな要素を占め、今後も人口減少の傾向は続くことが見込まれます。

(自然・社会増減：人)

(人口増減：人)



【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

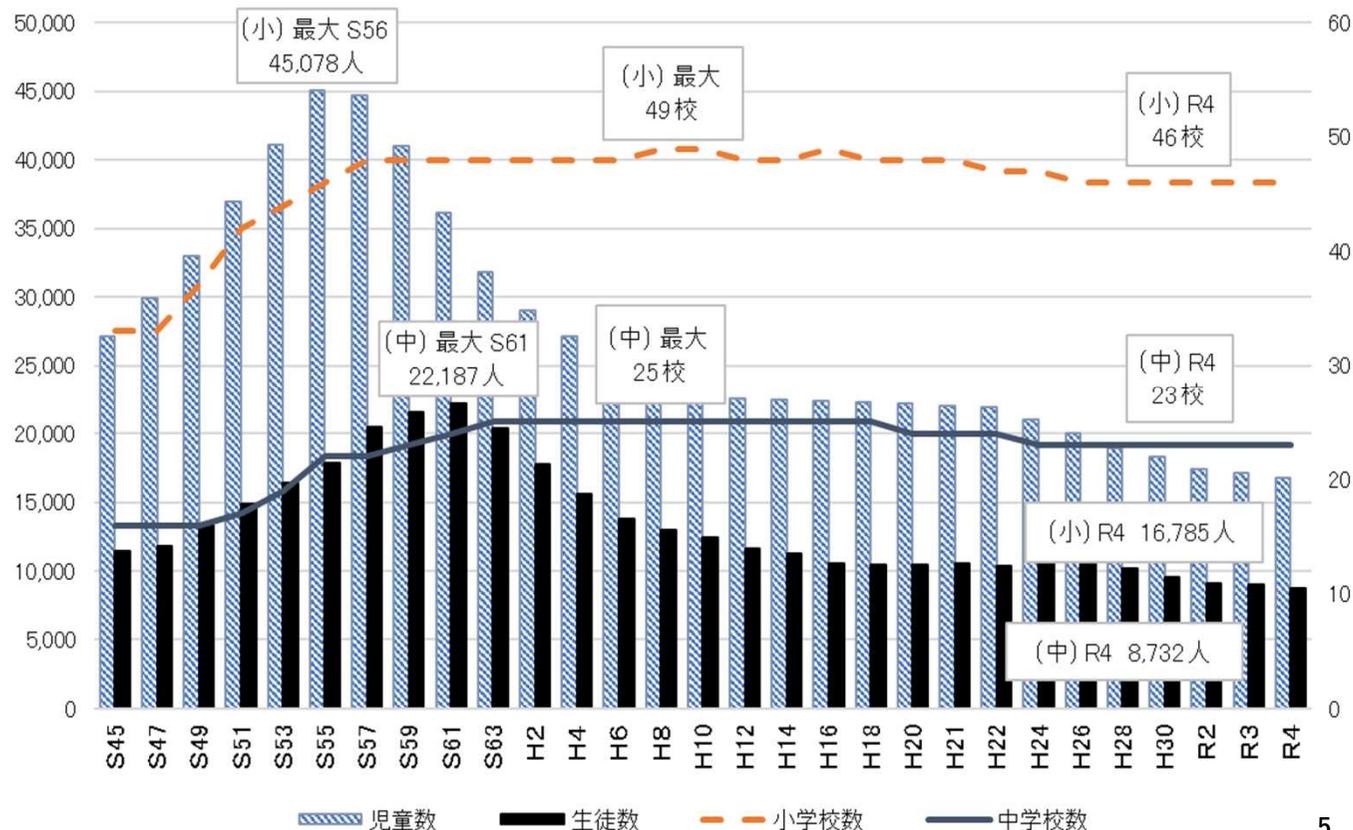
6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

(2) 本市の小中学校の現状について

① 児童・生徒数

小学生の児童数は昭和56年度、中学生の生徒数は昭和61年度をピークに減少傾向にあり、現在の児童・生徒数はピーク時と比べて約6割減少していますが、学校数はピーク時と比べてほとんど変化していないため、多くの学校で小規模化が進んでいます。



【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

② 小中学校の学校規模

児童・生徒数の減少に伴い、現在は小学校全体の約30%、中学校全体の約60%が小規模校となっています。

ア 学校規模が適正規模校（12～24学級）である場合

- ・ クラス替えが可能となるため、多くの児童との関わりを持つことができる。
- ・ 多様な意見等に触れやすくなる。
- ・ 活動内容に応じて少人数から集団まで、適切な規模で教育活動を展開できる。
- ・ 学校運営面において、バランスの取れた教職員配置となるため、子どもたちが多様な先生と触れ合える機会が増える。
- ・ 教職員 1 人当たりの校務をバランス良く分担できる。

⇒子ども同士が豊かな人間関係を築き、より多様な考えに触れる機会が持てるため、多様な教育活動を展開しやすい。

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

イ 学校規模の定義

	小学校	中学校
過小規模校	1～5学級（複式学級*あり）	1～2学級（複式学級*あり）
小規模校	6～11学級（各学年1～2学級）	3～11学級（各学年1～4学級）
適正規模校	12～24学級（各学年2～4学級） <ul style="list-style-type: none"> 各学年でクラス替えが可能 学年運営が効果的に行える 教員と児童が十分に関わりを持つことができる 	12～24学級（各学年4～8学級） <ul style="list-style-type: none"> 各学年でクラス替えが可能 学年運営が効果的に行える 教員と生徒が十分に関わりを持つことができる 5教科の教員が複数配置でき、選択教科、部活動などの指導体制が充実する
大規模校	25～30学級（各学年4～5学級）	25～30学級（各学年8～10学級）
過大規模校	31学級～（6学級以上の学年あり）	31学級～（11学級以上の学年あり）

*複式学級…2つ以上の異なる学年を1つにして編制した学級

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

ウ 小学校の学校規模の状況（令和5年5月1日時点）

※網掛け部分が小規模校

番号	学校名	通常 学級数	児童数 (特支含む)
1	走水	5	32
2	逸見	6	71
3	沢山	6	94
4	汐入	6	95
5	追浜	6	98
6	田浦	6	130
7	長浦	6	140
8	荻野	6	159
9	富士見	9	236
10	北下浦	10	230
11	望洋	10	245
12	馬堀	11	263
13	豊島	11	267
14	高坂	11	308
15	桜	12	270
16	長井	12	278
17	鷹取	12	291
18	粟田	12	292
19	鴨居	12	300
20	大矢部	12	318
21	岩戸	12	333
22	野比東	12	342
23	小原台	12	349

番号	学校名	通常 学級数	児童数 (特支含む)
24	津久井	12	356
25	船越	12	358
26	諏訪	12	362
27	大津	12	364
28	大塚台	12	384
29	武山	12	394
30	衣笠	12	404
31	山崎	13	374
32	浦賀	14	405
33	城北	14	444
34	田戸	15	431
35	夏島	15	452
36	大楠	15	463
37	野比	15	468
38	鶴久保	16	503
39	神明	17	523
40	池上	17	532
41	根岸	18	533
42	明浜	18	578
43	久里浜	18	611
44	森崎	22	665
45	公郷	22	690
46	浦郷	24	726
合計		574	16,161

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

工 中学校の学校規模の状況（令和5年5月1日時点） ※網掛け部分が小規模校

番号	学校名	通常学級数	生徒数 (特支含む)
1	鷹取	6	159
2	岩戸	6	143
3	北下浦	6	193
4	長井	6	149
5	馬堀	7	225
6	大楠	8	268
7	坂本	9	286
8	公郷	9	357
9	池上	9	320
10	長沢	9	301
11	不入斗	10	365
12	野比	10	362
13	常葉	11	401
14	武山	11	417
15	田浦	12	394
16	衣笠	12	450
17	大矢部	12	431
18	鴨居	12	399
19	神明	12	422
20	追浜	14	548
21	浦賀	17	618
22	大津	18	696
23	久里浜	18	686
合計		244	8,590

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

③ 学校施設の老朽化

ア 建築年数（令和5年4月1日時点）

本市の学校施設は、児童の増加を背景に昭和50年代に集中して建設しました。

このため、市内全体の5割の小中学校が建築後50年以上を経過しており、学校施設の老朽化が進んでいます。

No.	学校名	建築年度	年数	No.	学校名	建築年度	年数	No.	学校名	建築年度	年数
1	田浦小	1953	70	15	馬堀中	1966	57	29	栗田小	1972	51
2	夏島小	1955	68	16	山崎小	1967	56	30	久里浜中	1972	51
3	豊島小	1955	68	17	大津小	1967	56	31	池上中	1972	51
4	逸見小	1956	67	18	北下浦中	1967	56	32	岩戸小	1973	50
5	田戸小	1956	67	19	森崎小	1968	55	33	公郷小	1973	50
6	衣笠小	1957	66	20	久里浜小	1968	55	34	高坂小	1973	50
7	浦賀小	1960	63	21	鶴久保小	1969	54	35	城北小	1973	50
8	沢山小	1960	63	22	公郷中	1969	54	36	不入斗中	1973	50
9	浦郷小	1963	60	23	明浜小	1970	53	37	走水小	1974	49
10	汐入小	1963	60	24	浦賀中	1970	53	38	大楠小	1974	49
11	坂本中	1963	60	25	馬堀小	1971	52	39	鷹取小	1974	49
12	船越小	1965	58	26	武山小	1971	52	40	望洋小	1974	49
13	鴨居小	1966	57	27	北下浦小	1971	52	41	武山中	1974	49
14	田浦中	1966	57	28	鴨居中	1971	52	42	長井小	1975	48

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

イ 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定

本市の地形は起伏の多い丘陵地であり、一部の学校は土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されています。

レッドゾーンとは、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づく区域であり、この区域に指定された場合、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造の規制等が行われます。

○学校敷地内がレッドゾーンに指定された場合に考えられること

- ・学校敷地内に防護壁の設置等、災害への安全対策を講じることで、学校の建て替え以外のコストがかかり、活用できる学校敷地が減ってしまう可能性がある。
- ・レッドゾーンを避けて建て替える場合でも、活用できる学校敷地が減る可能性があり、さらに敷地が狭い学校では、建て替え自体が困難となる可能性もある。

【本日の内容】

1 本地域説明会について

2 横須賀市の現状について

3 横須賀市教育環境整備計画について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

④ 通学区域

「横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」では、小・中学校の適正な通学距離をそれぞれ2 km程度（徒歩30分程度）、3 km程度（徒歩45分程度）としています。

学校の立地によって自然環境、その他住宅の偏在などの地理的条件により、基準を超える地域がありますが、市内の公共交通機関の整備状況等の地域の実情を勘案し、判断します。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について**
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

3 横須賀市教育環境整備計画について

(1) 検討スケジュールについて

地域	行政区 (中学校区) 対象校	前期計画				後期計画				次期計画				
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12 以降				
田浦地域	田浦行政 (田浦中)	協議会の 設置・検討				【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討								
	田浦小 長浦小													
走水・馬堀地域	大津行政 (馬堀中)	協議会の 設置・検討				【段階的な検討が必要な場合】 将来を見据えた地域全体の学校配置の再検討								
	走水小 馬堀小													
逸見・中央地域	逸見行政 本庁 (坂本中)	後期計画の見直し				次期計画の策定								
	逸見小 沢山小 桜小 汐入小													
	協議会の 設置・検討										→			
地域未定	行政区 (中学校区) 未定 対象校 未定					協議会の 設置・検討					-----→			

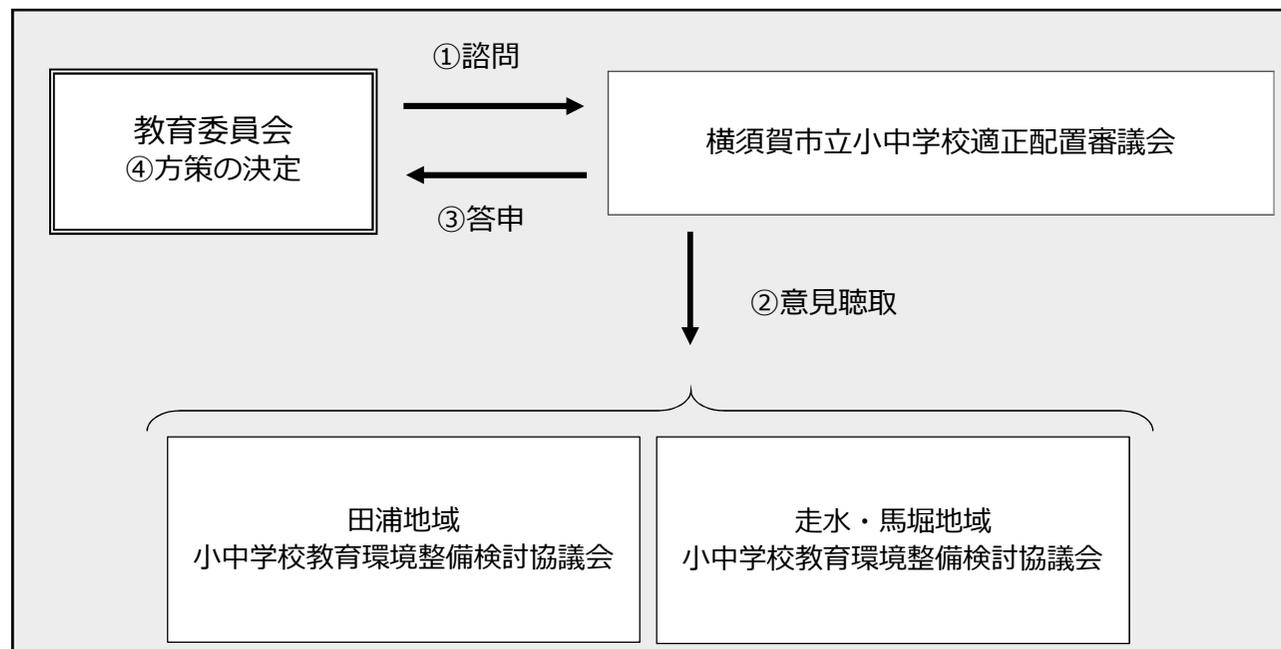
【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について**
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(2) 検討組織について

本市では、「横須賀市教育環境整備計画」を策定し、全市的な視点で、地域ごとの将来像を見据えた対応策の検討を進めています。

なお、検討に当たっては、市教育委員会の附属機関である「横須賀市立小中学校適正配置審議会」へ諮問し、同審議会は「地域別小中学校教育環境整備検討協議会」に意見聴取を行い、答申を通じて市教育委員会が方策の決定を行います。

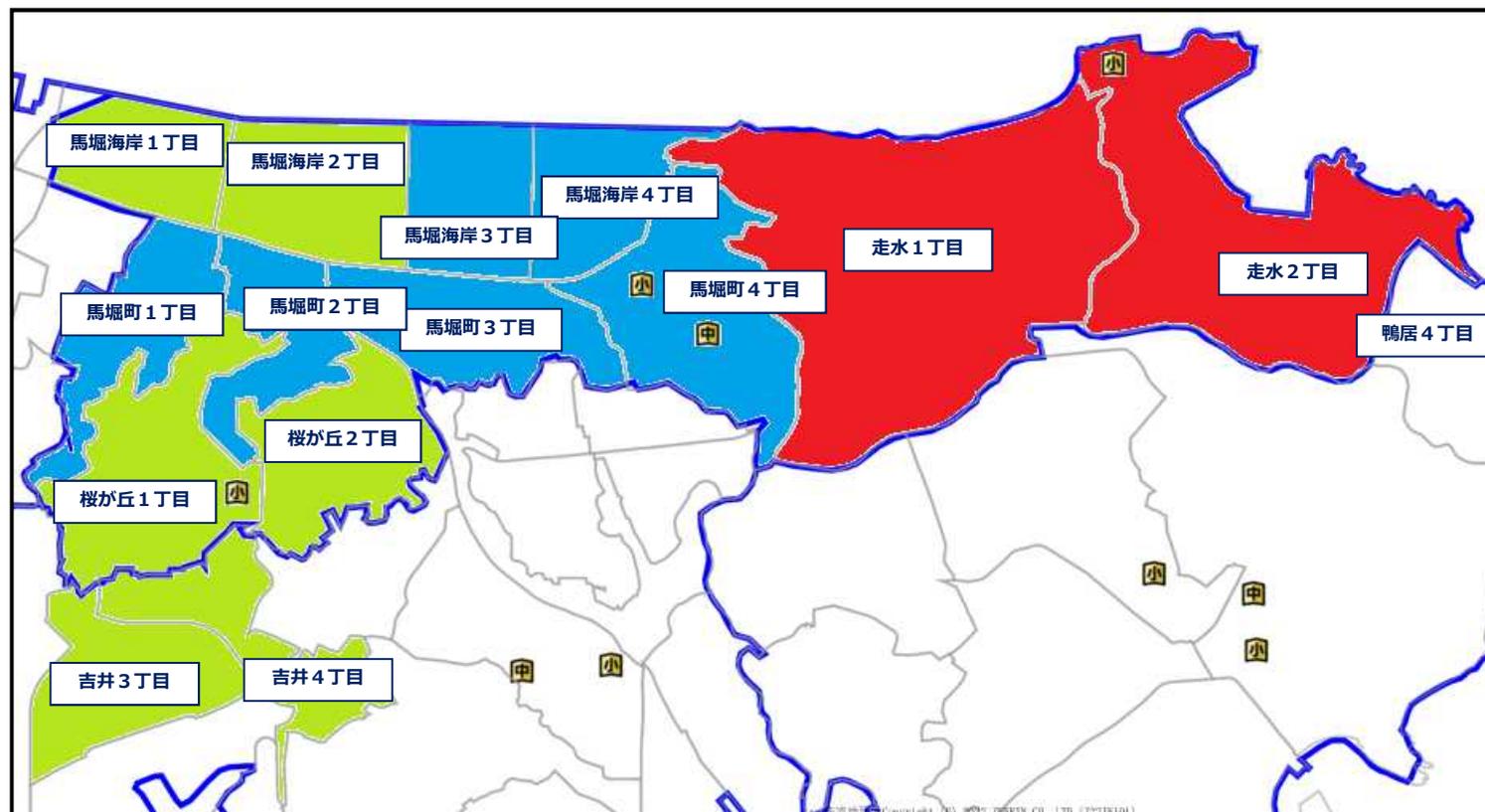


【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について**
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

4 走水・馬堀地域の小学校の現状について

(1) 走水・馬堀地域の小学校の通学区域について



望洋小学校区 馬堀小学校区 走水小学校区

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について**
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(2) 走水・馬堀地域小学校の児童数について

① 児童数の現状

※令和5年5月1日現在

学校名		走水小				馬堀小			
児童・学級数		児童数			学級数	児童数			学級数
		男	女	計		男	女	計	
学年	1年	2	2	4(0)	1	23	19	42(2)	2
	2年	1	0	1(0)		17	25	42(3)	2
	3年	2	3	5(0)	1	27	19	46(3)	2
	4年	5	5	10(3)	1	16	17	33(1)	1
	5年	4	0	4(1)	1	28	26	54(4)	2
	6年	2	6	8(1)	1	25	21	46(4)	2
	特支	内数(5)			2	内数(17)			5
	計	32			7	263			16
教員数(定数)		11				21			
学校施設	校地面積	8,688.82㎡				17,599.59㎡			
	普通教室	11教室				23教室			
	プール	なし				あり			
設置年月日		明治6年(1873年)9月1日				昭和26年(1951年)10月1日			

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について**
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

② 将来推計

※ R 5 は実数

学校名	児童・学級数		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11
走水小	児童数		32	30	32	31	31	36	37
	学級数	通常	5	5	5	5	5	6	6
		特支	2	2	2	2	2	2	2
馬堀小	児童数		263	253	236	249	239	231	223
	学級数	通常	11	11	11	12	11	10	9
		特支	5	5	5	5	5	5	5

③ 児童数の推移

※児童・学級数は、特別支援学級分を含む

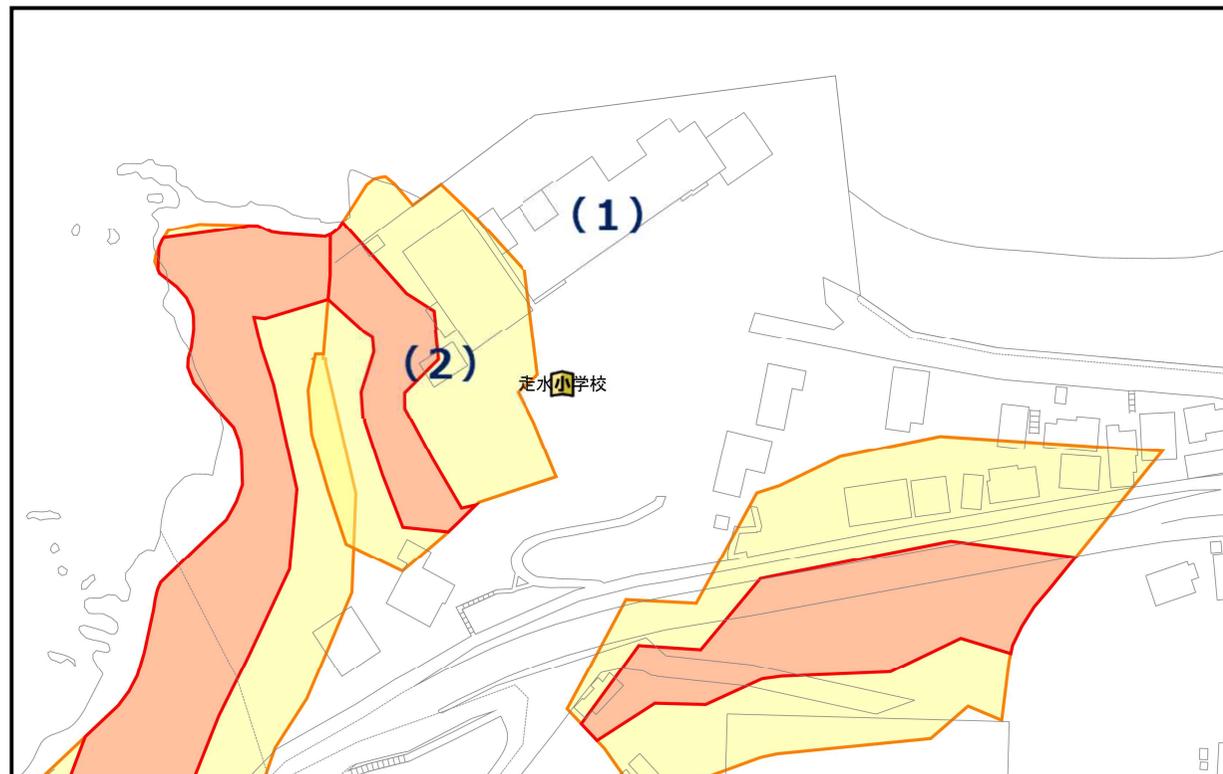
学校名	児童・学級数	S45	S50	各学校のピーク		S60	H 2	H 7	R 5
				S54	S55				
走水小	児童数	192	269	353	400	356	277	196	32
	学級数	6	9	11	12	12	11	7	7
馬堀小	児童数	467	602	951	927	789	595	525	263
	学級数	13	18	23	24	22	18	18	16

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について**
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(3) 走水・馬堀地域小学校の学校施設について ※網掛け部分がレッドゾーン

① 走水小学校

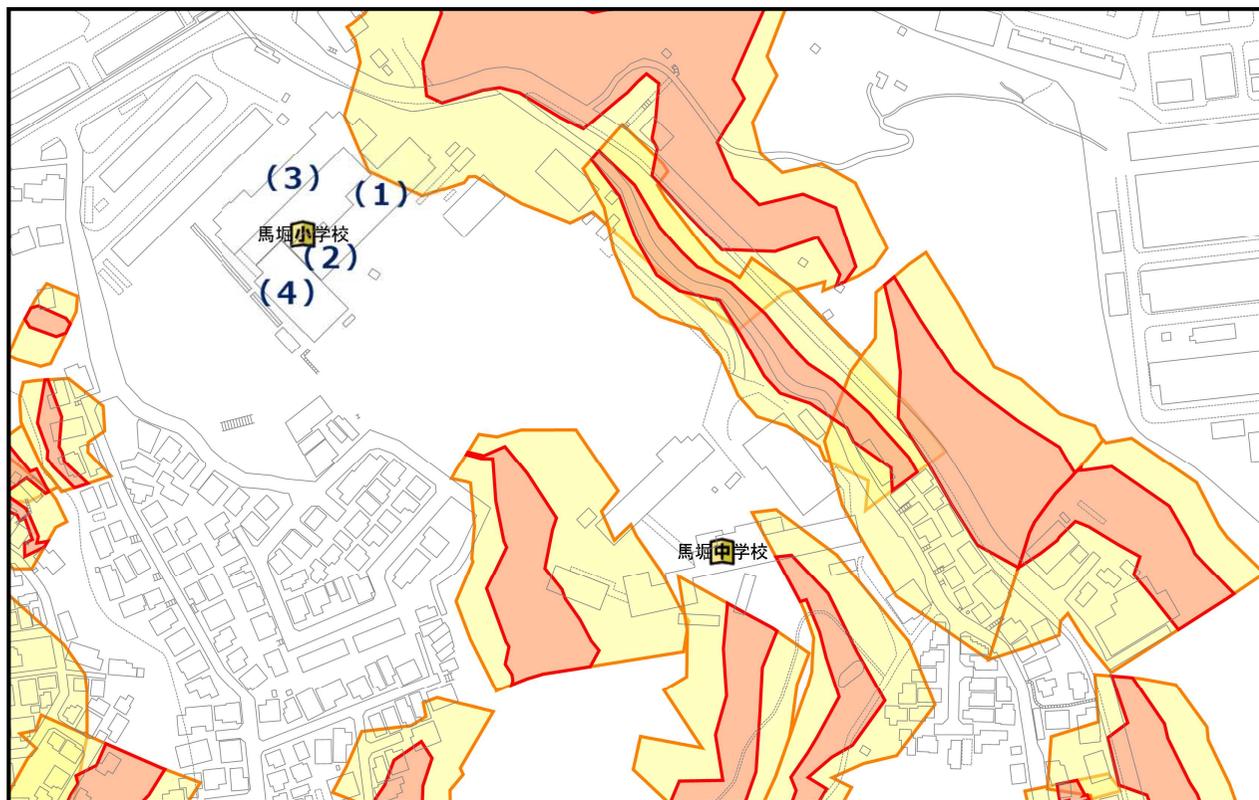


番号	建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		年数
				西暦	和暦	
(1)	管理教室棟	4	2,939	1974年	昭和49年	48
(2)	体育館	1	460	1974年	昭和49年	48

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について**
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

② 馬堀小学校



番号	建物名	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		年数
				西暦	和暦	
(1)	管理教室棟	3	1,271	1971年	昭和46年	51
(2)	教室棟	3	1,278	1972年	昭和47年	50
(3)	教室棟	3	2,523	1978年	昭和53年	44
(4)	体育館	1	668	1975年	昭和50年	47

5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(1) 協議会の構成及び開催について

① 構成員

地域関係者、小学校保護者、未就学児保護者、学校運営協議会、学校関係者

② 開催経過 ※いずれも大津コミュニティセンターで開催

第1回 令和4年 5月30日 (月)

第2回 令和4年 7月19日 (火)

第3回 令和4年10月14日 (金)

第4回 令和5年 1月23日 (月)

第5回 令和5年 3月17日 (金)

第6回 令和5年 5月25日 (木)

第7回 令和5年11月 9日 (木)

(2) 協議会における意見について

第6回の協議会において、これまでの意見を集約・整理し、3つの方策案にまとめ、その方策案を第3回の審議会において報告しました。

方策案1 走水小学校区を馬堀小学校区へ編入する。

方策案2 走水小学校区を現状のまま存続し、定住促進策を講じる。

方策案3 小規模特別認定校として走水小学校を存続する。

※小規模特別認定校制度・・・少人数の学校で、自然環境の活用や地域住民との交流など、特色ある学校経営を行い、一定の条件のもとで、他の通学区域からの通学を許可する制度

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(3) 方策案1「走水小学校区を馬堀小学校区へ編入する。」

① 趣旨

走水小学校と馬堀小学校の小規模化が進んでおり、特に走水小学校は全校児童数が32人と市内で最も規模が小さい小学校となっています。今後も本市において人口減少・少子化が見込まれる中で、隣接する地域の小学校においても小規模化が進んでいることから、通学区域の変更や小規模校同士の統廃合のみでは、将来にわたって本質的な教育環境の改善が難しい状況となっています。

本案は、通学距離や中学校区との関係を考慮し、走水小学校を馬堀小学校へ編入するというものです。

② 懸案

編入後の通学については、距離だけではなく、人通りや防犯、越波、内水氾濫などの課題があるため、児童が安心安全に通学でき、帰宅困難にならないように入念に対応策を講じる必要があります。走水小学校の学区では、今後、若い子育て世帯の入居が見込まれる集合住宅が馬堀小学校から最も遠い位置に存在するため、将来的に多くの若年層に経済的負担を強いる学区の設定になります。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(4) 方策案2「走水小学校区を現状のまま存続し、定住促進策を講じる。」

① 趣旨

走水地域は、自然、歴史、文化など子どもを育てるには良い環境であり走水小学校は、それらを基盤にした魅力的な教材が身近なところに揃っている全国的にも他に類を見ない貴重な教育施設の一つといえます。走水小学校は、このような地域教材を十二分に活用した教育を工夫しながら数多く導入実践しており、横須賀市の特色ある小学校教育の拠点として極めて重要です。委員からは、走水小学校は、横須賀市内の教育施設として存続すべき宝であるとの意見も出されております。走水小学校は、地域住民との関わり、つながりが歴史的にも深く、スポーツや地域活動、避難所など地域の拠点となっていることから、教育の面だけではなく地域の面からも考える必要があります。方策案2は、この観点から走水小学校をこのまま存続し、若年層世代の移住と定住の促進策を講じるというものです。

② 懸案

本案では、事務局から示された「教育環境整備計画においては、小中学校の適正規模を12～24学級としており、小規模化の課題への対応策が必要です。」に対応できないといえます。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(5) 方策案3「小規模特別認定校として走水小学校を存続する。」

① 趣旨

走水地域は、自然、歴史、文化など子どもを育てるには良い環境であり走水小学校は、それらを基盤にした魅力的な教材が身近なところに揃っている全国的にも他に類を見ない貴重な教育施設の一つといえます。走水小学校は、このような地域教材を十二分に活用した教育を工夫しながら数多く導入実践しており、横須賀市の特色ある小学校教育の拠点として極めて重要です。委員からは、走水小学校は、横須賀市内の教育施設として存続すべき宝であるとの意見も出されております。走水小学校は、地域住民との関わり、つながりが歴史的にも深く、スポーツや地域活動、避難所など地域の拠点となっていることから、教育の面だけではなく地域の面からも考える必要があります。

方策案3は、方策案2を講じるとともに、小規模特別認定校制度を活用するというものです。不登校の子どもや小規模を希望する子どももいることから、小規模特別認定校制度を利用し、走水小学校の教育環境等を有効に活用しながら本小学校区を存続します。この案は、教育環境整備として他都市でもいくつか実績のある有効な方策の一つです。

② 懸案

本案では、事務局から示された「教育環境整備計画においては、小中学校の適正規模を12～24学級としており、小規模化の課題への対応策が必要です。」に対応できないといえます。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について**
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について
- 7 答申の内容について

(6) 各案に関する協議会委員の意見等の概要について

<p>方策案 1 走水小学校区を馬堀小学校区に編入する</p>	<p>1. 通学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最長 3 kmの通学距離、雨や強風などの悪天候、越波など徒歩通学に心配がある。 ・通学補助やスクールバスなど通学支援策が必要。 <p>2. 統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走水小学校の統廃合は、地域の衰退につながる。 ・走水小学校の歴史を踏まえると統合は受け入れがたい。 ・近隣の3校で連携させて共存共栄の道を議論すべき。 ・跡地利用について、防災倉庫や避難所は残してほしい。廃校舎を利用して宿泊施設はできないか。学校開放利用団体への配慮も必要。 <p>3. 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習面、集団活動において活性化した授業を行うにはある程度の児童数が必要。生活面においても価値観や人間関係の固定化が心配。
<p>方策案 2 走水小学校区を現状のまま存続し、定住促進を講じる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模のデメリットを感じているとは限らない。 ・走水地域は自然環境など教育的な資産や地域教材が豊富であり、それらを最大限生かせるのは走水小学校である。 ・走水地域は人を呼び込める環境が整っているため、若い世代を呼び込む対策をした方が良い。
<p>方策案 3 小規模特別認定校として走水小学校を存続する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校のような環境を必要としている子どももいる。 ・小規模特別認定校などにより、不登校の児童の居場所とすることはできないか。

小規模特別認定校制度・・・少人数の学校で、自然環境の活用や地域住民との交流など、特色ある学校経営を行い、一定の条件のもとで、他の通学区域からの通学を許可する制度

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

- 7 答申の内容について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

(1) 審議会の構成及び開催について

① 構成員

学識経験者、関係団体の代表者、保護者、小中学校の校長
教育委員会が必要と認める者

② 開催経過 ※いずれも市役所庁舎内の会議室で開催

第1回 令和4年 5月23日 (月)

第2回 令和4年12月26日 (月)

第3回 令和5年 6月26日 (月)

第4回 令和5年 7月31日 (月)

第5回 令和5年 9月14日 (木)

第6回 令和5年10月12日 (木)

(2) 審議会での検討及び答申について

教育委員会は、令和4年5月23日に走水・馬堀地域における市立小中学校の教育環境整備の推進について、審議会へ諮問を行いました。

諮問を受けた審議会は、地域の学校関係者、保護者、地域の方々に構成する地域別協議会に意見聴取を行い、検討を行った結果、第6回の審議会において答申をとりまとめ、教育委員会へ答申しました。

(3) 教育環境整備に関する審議会委員の意見等の概要について

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について**
- 7 答申の内容について

<p>学校規模等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年間の成長を考えると、1学年に複数の学級があることが望ましいです。学級編成をある程度考慮できる状況にあることは、多くの子どもにとって望ましいと思います。 ・教員の指導力の向上という点でも複数の学級があることが望ましく、どの学級も安定した経営を行うには、学年経営がとて重要となります。複数の教員で子どもたちを多面的に見て、指導方法を検討しながら関わっていくことで、若手の教員は先輩の教員から大変多くのことを学び、学校の総体としての指導力と教育の質の向上につながっていくと考えます。 ・小規模校でもメリットはたくさんあり、子どもたちがクラスの中で物事を解決しないといけなため、人間関係はたくさんの人と交わればそれだけに良いものもありますが、子どもたち同士で解決していく様子もあり、先生方に把握していただけるということが、保護者としてもメリットをすごく感じています。
<p>学校と地域について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの地域でも自分の住んでいる町は好きなため、何か変わるということに対する気持ちの抵抗というものはあると思います。それをあまり強く出してしまうと地域論的に思われてしまいます。意見が公正公平というような意味でどうかと思ってしまいます。走水、田浦ということだけではなく、全市的、全国的に見た問題で捉えていかないといいません。うちのところが一番良いのだ、だからどうしてもそれだけは残したいというのは公正公平ではないと思います。
<p>通学路の安全確保等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスのメリットは専用的に使うことであると思いますが、子どもが遅れてしまった際、その子どものためにずっと待つのか。それで欠席になったときは、それによって他の子どもたちが待たされたりすることが問題です。路線バスのパスを使って通学するという形をとれば、社会的にも、子どもたちがバスの中で挨拶をすることも一つの勉強になります。地域の皆さんが一番心配していることだと思いますし、地域の方も一緒になって、警察にも一緒に協力してもらってやる等、少し広まった形で地域一丸となってみんなでやっていくという姿勢が必要だと思います。
<p>子どもたちへの意見聴取について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見を聞くということはとても大事だと思います。ただし、今少人数の中にいる児童生徒たちは少数の体験しかしていません。そうした中で、大きい学校に編入されるということを考えるのであれば、大きい学校に行ったらこんなことができる、こんな環境になるということを実体験させて、少人数環境から大きい環境へ入る上での集団活動というものを体験させてみてから、子どもの意見聴取をすることが大事ではないかと思います。

(4) 各案に関する審議会委員の意見等の概要について

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

- 7 答申の内容について

<p>方策案 1 走水小学校区を馬堀小学校区に編入する</p>	<p>1. 通学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて通学というのはなかなか難しい部分もあるが、スクールバスが良いのか、公共交通機関の補助が良いのかを考えていかなければなりません、行政の責任で子どもの安全を担保してもらいたい <p>2. 統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生から6年生まで合わせて32人で、これからもこの人数が増えることは難しいという中で、また1年生と2年生が複式学級の状況で、このまま学校運営を進めるのは非常に難しいと思います。 <p>3. 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスにある程度の人数がいるということは、子どもの学びや成長にとって必要不可欠であると思います。例えば、走水小学校の1年生を見たときに男子1人、女子2人で6年間やっていって、このまま、中学校に進学したときには心配な点もある。現状の授業形態では、話し合っ解決に導くなど、いろいろな子ども同士の関わりが求められており、あまりにも人数が少ない状況には危惧しています。
<p>方策案 2 走水小学校区を現状のまま存続し、定住促進を講じる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これは理想ではありますが、現実は無理だと思います。日本の社会の今の状況として難しい問題ですから、方策案1になったとしても、定住促進策は市としてやらなければならないことです。 ・関係人口を増やしていこうという流れはありますが、それでは結局自治体間競争になって負ける自治体がどんどん出てきます。同じ横須賀市内でも同じように負ける地域が出てきています。だからこそ定住促進策を講じ、自然増を図っていくということがない限り解決しない問題なので、方策案2は、今回の喫緊の課題との決策としては、審議会としては是とは言えないと思います。
<p>方策案 3 小規模特別認定校として走水小学校を存続する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども目線で考えたときに小規模の学校の方が来やすいとか、不登校の子どもが小規模だったら来られるというのはあると思うので、走水小学校をそうするかは別として、そのような子どもの受け皿は必要だと思います。それは今後も考えていく必要があると思います。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

7 答申の内容について

(1) 答申について

1 答申内容

走水小学校区を馬堀小学校区に編入する方策が妥当である。

2 理由

走水・馬堀地域においては、走水小学校と馬堀小学校の学校規模の小規模化が課題となっており、特に走水小学校においては複式学級となっていることから、喫緊の課題を解決するための方策として判断した。

付言

教育環境整備の方策を実施するに当たっては、両校の児童が円滑に新たな環境で学べるようにすることや通学の安全を確保する方策を講じる必要があると考えます。

また、通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後は、全市的な遠距離通学に対する方策の検討が必要であることを申し添えます。

※具体的な方策につきましては、今後、教育委員会議による審議を経て決定されます。

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

(2) 答申内容に関する協議会委員の意見（第7回協議会より）

No.	内容
1	<p>学校の人数が少なくなったので教育環境を整備する、そのため学区の見直しが必要だというのは理解できますが、走水の住民が一番懸念しているのは、学校が走水地区からなくなることによって地域の衰退に繋がることです。</p> <p>今まで伝統行事等を支えてきた小学校がなくなることは、地域の生活に大きな影響があります。そういったことが審議会の中では議論の対象にならないし、そういったことを話す場でないことは理解してますが、走水の文化、伝統を守るということを誰が担保するのかについて、教育委員会でなければどこに相談をすれば良いのか、そういった部分が欠けていると思います。そういった部分のフォローがない限りは、走水の人達は統廃合に関して、素直に賛成できない状況だと思います。</p>
2	<p>地域説明会において、住民の皆さまにしっかりと説明をしていただかないと、納得いただけないと思います。資料を渡すだけで、このような資料です、ご意見はどうですか、という進め方では相当な反感が予想されますので、どのような議論がなされたのかというところは説明していただく必要があると思います。</p>
3	<p>審議会の答申案について、これから意見を言って覆すというのは基本的には不可能だと思っているが、会議の進め方としては誤っていると思う。</p>
4	<p>協議会の中で、課題として通学路の安全性の問題や、児童同士が同じ学校になったときになじめるのか、などがありました。</p> <p>走水地域と馬堀地域を両方見ていて気になるのは、山と海で分かれた二つの地域であり、相当距離が離れているということです。生活している方々の文化も違います。走水地域の方の気質と馬堀地域の方の気質はかなり違うと思います。</p> <p>この二つを一つにしたときに、うまくやっていけるのかについては不安を感じます。審議会の中で議論されているように、多くの児童がいて、いろいろ考慮して意見交換ができるという非常に理想的な話がありますが、地域間での連携という部分は大きな問題だと思っています。</p>
5	<p>人数が少ないから統合し、クラス替えができる規模にするということは、審議会が始まった当初からあった方策と同じで、非常に単純な結論であると感じており、残念です。</p>

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内 容
6	<p>教育上の工夫で連携等の話もしましたが、審議会でも検討していただいて、負担が大きく難しいだろうというご意見があり、審議会委員の方も納得されて却下されてしまったというのは非常に残念です。ただ、今後の進め方としては検討していく価値があるというように受け入れていただいたのはありがたいと思います。</p>
7	<p>編入という表現の話も出ていましたが、編入という表現はどうかと思います。編入という表現で、走水小学校をなくして馬堀小学校にしましょう、という書き方をされると、走水小学校に愛着のある方は多くいるので、その方々は不満を覚えると思います。</p> <p>統合と編入では意味が違うと思います。例えば、馬堀小学校の名前を馬堀走水小学校にできますか、という話だと思いますが、そのような点はどうでしょうか。編入ではなくて統合であり、名前を残すことによって走水小学校側の思いを引き継ぐというような学校編制もあり得ると思います。</p>
8	<p>新聞記事に出ていたように、廃止というような少し強めの表現がされていると、記事を見た方は残念に思っているのではないかと思います。どのような取材を受けたのかが分からないのでそれ以上のことは言いませんが、気になるところです。</p>
9	<p>審議会から答申が出ましたが、未解決の課題がたくさんあります。それらをスムーズに解決する方策や、また別のやり方というものを考えていかなければならないと思うので、答申が全てだとは思ってません。一つの方向性としては決まったかもしれませんが、この中で議論をしながら、子どもたちにとってより良い教育環境を構築していくことがこの会議の目的であり、教育委員会は真剣に取り組んで、ご検討いただければと思います。</p>
10	<p>走水の方々は一生懸命子どもたちを支えており、先日の運動会にも地域の方にたくさん来ていただいて、児童を応援しながら一緒に盛り上げていただきました。</p> <p>また、再来週には地域の防災訓練を走水小学校で行います。その中で、PTAと合同でのイベントの企画があったりしますので、そのような意味では走水地域における走水小学校の位置付けというのは非常に重要だと思っています。地域全体のコミュニティをつなぐ要になっていると思いますので、その要を取り去ることによって、地域の連携にインパクトがあるのではないかと思います。その代替に馬堀地区がなり得るのかというと、山と海に囲まれていて、陸の孤島のようなところなので、うまく連携させることができるのか疑問です。</p> <p>今回の議題は、教育環境の適正化という話なので、そこまで踏み込んだ議論ができるのか分かりませんが、地域コミュニティの中心に小学校があるという事実は、市議会にもお伝えいただきたいと思いますし、市長にもご認識いただいた上で審議していただきたいと思います。</p>

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内 容
11	<p>子どもたちの通学の安全性について、下校のリスクが大きいと思います。学年によって下校時間はまちまちになるので、バスに乗る時間がどうなるのか、乗れなかった場合はどうなるか等です。走水地域には学童保育がないので、あえて走水地域から馬堀小学校に通っている小学生も10人程度いるようです。その子たちを見ていると、通学路には暗いトンネルがあり、バスに乗り遅れたか何かで歩いている子がいたりして、注意することがあります。そういった場所についての下校の見守りというのは、徒歩での登下校を想定しているのであれば、かなりリスクが高いので、ご検討いただきたいと思います。この後の進め方というところで、走水小学校に通っている児童が不利益な状態にならないようにご検討いただくようお願いします。</p>
12	<p>通学はとても大切なところで、絶対に事故があってはいけないので、地域別協議会としても意見を出していければと思います。</p> <p>ただ、走水小学校と馬堀小学校の統合という件だけではなく、これからの横須賀のことを全市的に考えながら、民間のバスを使うのか、スクールバスを使うのかなど、議論していただければと思います。</p>
13	<p>先日、馬堀小学校の学校運営協議会が行われ、その際にもこの話が出ました。教育委員会もこれから検討していくと思いますが、現場の校長先生たちも、子どもたちが困らないように今からいろいろ考えていただいております、安心しています。</p>
14	<p>統合が決まった際には、子どもたちがスムーズになじめるようにということについては、すぐにでも交流の場を考えて、何ができるかはまだ具体的には決まっていますが、馬堀小学校と走水小学校で連携をして、できるだけお互いの名前も顔も分かるようにし、仲良くなって、友達として一緒にやっていけるんだと思えるような活動をしていきたいと思います。</p> <p>学校名についても、馬堀小学校に来てもらうということではなく、二つの学校が合わさることで、どちらの子どもたちも気持ちよく一緒にやっというように考えていかなければいけないという話を、学校運営協議会の中でしました。これからすぐにでも、できることを考えていきたいと思います。</p>
15	<p>児童、保護者、教職員、地域の方がよりスムーズにやっという方向で進んでいただきたいなと思います。</p>
16	<p>事務局から説明があったとおり、答申を受けたという報道発表だったと思います。しかし、記事はそうではないようなイメージの記事でした。報道発表の中でどのようなやりとりがあったのか、どうしてそのような記事になってしまうのかについて、お聞かせいただければと思います。</p>

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内容
17	<p>地域説明会の中で、説明会の目的を明確にお伝えしていただいてから、説明をしていただけたらと思います。答申をいただきました、決定は年明けです、という状況の中で、意見を言うのは非常に難しいと思います。11月20日という日程は微妙な中での説明会になると思うので、より良い教育環境に取り組んでいくということが目的となっているのであれば、いろいろな意見が出るし、言いやすくなると思います。</p> <p>ただ、決定はしていないので、そこまで踏み込めないという部分もあると思いますので、もらう意見はどこまでもらいたいのか、答申が出ている中で、戻ってという意見ではないのか、そこも踏まえての意見をもらいたいのか、その辺りを明確にした状態で説明会をしていただきたいと思います。地域の皆さまにとっても限られた時間ですので、その方がより良いご意見がいただけるのではないかと思います。</p>
18	<p>仮に統合するとした場合、さまざまな課題が残っていますが、その解消レベルがどの辺りになったところで統合時期が決まってくるのでしょうか。例えば、通学の課題が解消されるまでは統合のプロセスに入らないのか。それとも、審議会でも走水小学校の教育環境は非常に素晴らしいというご意見がありましたし、地域別協議会でもこのような素晴らしい教育環境をなくしてしまうのは横須賀の教育環境整備としてはマイナスではないかという話がありましたので、これをどう活用するのかということまで決まった上で、統合というプロセスに入っていくのか、その時期はどのような形になるのか教えていただきたいと思います。</p>
19	<p>地域の方の思い入れが強い小学校の一つだと思うので、皆さんのご意見をしっかり市議会と教育委員会、市長にも伝えていただければありがたいです。</p>
20	<p>どのように資料がまとめられて市議会等に渡されるのかが気になります。資料の整理の仕方が非常に重要だと思います。全て載せるわけにはいかないと思うので、重要な部分を取りまとめて作成する必要があると思いますが、我々が本当に主張したかったところではないところがピックアップされてしまったり、本当に言いたかった部分が漏れてしまう可能性があるということが心配です。地域説明会等で出た発言や、それに対する回答などがあったとして、それを取りまとめる段階で全く反映されなかったとしたら、発言をした方は非常に不満だと思います。その発言内容が感情的なものだったらそれほど重視されないかもしれませんが、周りの方々から同意を得るような重要な発言だった場合には、しっかり見極めることができずにまとめられてしまい、市議会には伝わらなかったという話になるとよろしくないと思います。</p> <p>地域の皆さまのご意見がしっかり伝わるように作っていただけるものと期待しています。</p>
21	<p>どういった結論が出ようと、納得していただけるかどうか重要だと思うので、丁寧に進めていただければと思います。</p>

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内容
22	<p>審議会でも、走水の教育環境をうまく活用できれば良いというご意見がありました。ですので、教育委員会の手を離れて、売り払われてしまったり、廃墟のようになってしまっただけでは非常にもったいないと思います。学校がなくなって人気なくなると、防犯上危うい地域になりますし、通学的手段としてバス等の手配が行き届いて、見守りの体制が整えば良いですが、そうでない場合には、国道の下の細い路地を通ることになるので、人目が見つからないですし、見守りの体制がとれない状況です。通学する人数は1学年2人や3人で帰ることになるので、かなり危ないのご理解いただければと思います。そこから先の地域は海岸沿いを行くところと、水源地公園と山に囲まれていたり、海がすぐ傍に迫っているようなところで、非常にリスクがある場所なので、通学の安全性は絶対に確保した上で、次のステップに進めていただくということは、絶対条件としてお約束いただければと思います。</p> <p>跡地については、素晴らしいところなので、みすみす潰してしまうようなことだけは反対させていただきたいと思います。うまく活用できるような方法や、馬堀の方に走水に来ていただくという形も良いと思うので、検討していただければと思います。</p>
23	<p>一番懸念されることは走水地域の衰退、地域のコミュニティについてです。通学区域の再編成という問題だけではなくて、地域の衰退に直結する、コミュニティの核を失うことになるので、その代わりになるものがあるのかを一番の論点として取り上げていただきたいです。</p>
24	<p>今は走水小学校に歩いて通っていると思いますが、馬堀小学校にバスを利用して通うようになると、走水は信号がありませんので、その辺についても検討していただきたいと思います。</p>
25	<p>今後どうなるか分かりませんが、近い小学校なので、統廃合を抜きにしても小学生同士で一緒に交流できるような機会を設けていただけるとありがたいと思います。</p> <p>子どもが走水小学校に通っていますが、将来的に馬堀小学校と一緒になるかもしれないという話が先生からあったと言っていたので、少し意識はしているようです。今のうちから両校のイベントと一緒に参加したり、お互いに招待し合うなどの交流をする機会を設けていただきたいです。統廃合しなかったとしても、必ずプラスになることだと思うので、ご検討いただければと思います。馬堀小学校はサポーターズ、走水小学校はPTAがあるので、連携しながらやれることを協力できればと思います。</p>
26	<p>走水小学校にはプールがないので、毎年、馬堀小学校にプールの授業に来ていただいています。そのたびに、走水小学校の児童と関わる機会があります。これまで、プールで来た際に少し時間を作って、一緒にレクをやったこともありましたが、また、総合学習でも、走水小学校の学区である水源地公園のオープンに関わったりもしています。近くにあるので、一緒に何か取り組むというような、学習の中で活動するといったこともできるのではないかなと思います。馬堀小学校も児童数が多くはないので、少しでも増えれば、子どもたちも学ぶモチベーションが上がるといいますし、いろいろと考えていきたいと思っています。</p>

【本日の内容】

- 1 本地域説明会について
- 2 横須賀市の現状について
- 3 横須賀市教育環境整備計画について
- 4 走水・馬堀地域の小学校の現状について
- 5 走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について
- 6 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

7 答申の内容について

No.	内 容
27	<p>先日、P T Aを交えてホタル鑑賞会をやりました。学芸員の方にご説明いただいたりして、そのようなイベントも小学校でやっています。</p> <p>これからの教育は、いわゆる中央集中型の教育ではなく、ネットワーク型だと思います。分散して、お互いに小さなコミュニティとして協力して盛り上げていくという形が理想的ではないかなと思っていて、そのような一つのモデルケースになると良いと思っているので、交流を進めていただければありがたいと思います。</p>
28	<p>走水小学校のP T A会長は、外に開いていこうという意思を強く持たれているP T A会長だと思っています。それを受けて、学校を開いていこうという姿勢で教育を行っています。</p> <p>その中で、昨年度は雨でプールが使えなくても馬堀小学校へ行って、体育館で馬堀小学校の子どもたちと交流するということも行いましたし、6年生のボール大会では走水小学校の人数が少なく、対戦形式でやるのは難しい状況の中で、一緒に練習をして、合同チームで試合を行うという形をとりました。一緒に行動する時間を作ることができましたし、何度も一緒に活動しながら練習し、試合をするという経験をしました。</p> <p>中学校に進んだ今の一年生は、馬堀小学校の子と走水小学校の子が近い状態でスタートできたというところもありますので、両校の交流については、今後も取り組んでいく必要があると思います。</p>

地域別小中学校教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



横須賀市 検討協議会



横須賀市立小中学校適正配置審議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/shouchuugakkoutekiseihaichisingikai.html>

QRコード



横須賀市 適正配置



ご意見等がございましたら、以下のファクスかE-メールまでお願いいたします。

事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849

E-メール sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

